学校番号	1202

令和３年度　芸術科（書道）

教科	芸術	科目	書道Ⅱ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	書Ⅱ（教育図書）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・「漢字の書」や「仮名の書」では様々な書風にふれることによって鑑賞と表現の能力を高めていきます。
・生活の中に書作品を取り入れ、生涯にわたり書を愛好する心情を育てます。

2　学習の到達目標

書道の創造的な諸活動を通して、生涯にわたり書を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、個性豊かな表現と鑑賞の能力を伸ばし、書の伝統と文化についての理解を深める。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:書への関心・意欲・態度	b:書表現の構想と工夫	c:創造的な書表現の技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	書の創造的な諸活動の喜びを味わい，書の伝統と文化に関心をもって主体的に表現や鑑賞の活動に取り組もうとする。	感性を高め、書のよさや美しさを感じ取り，自らの意図に基づき構想し，表現を工夫する。	創造的な書表現をするために基本的な能力を高め,用具･用材を生かした個性豊かな表現の技能を身に付けている。	日常生活の書の効用や、日本及び中国等の書の伝統と文化などを理解し，そのよさや美しさを創造的に味わっている。
評価方法	・観察 ・ワークシート	・観察 ・ワークシート ・提出作品	・観察 ・ワークシート ・提出作品	・観察 ・ワークシート ・提出作品

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４　学習の活動

月	題材名	学習内容・活動	主な評価の観点				単元（題材）の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
4 5	漢字の書 【篆書】 ・泰山刻石 ・石鼓文 【隷書】 ・曹全碑 ・乙瑛碑	・書体変遷や歴史的背景 ・基本用筆、運筆 ・亀甲や獣骨、青銅器、木簡など様々なものに刻まれた書の特徴についても理解する。	○	○	○	○	a：書体変遷や歴史的背景に興味を持ち、今後の学習に意欲的に取り組もうとしている。 b：基本的な用筆方法を理解し、表現を工夫している。 c：逆筆の用筆方法を見に付け表している。 d：文字の成り立ちに興味を持ち、その美しさに興味を持っている。	観察 ワークシート 提出作品
6 7	【篆刻】	・８分、５分の姓名印を作成。	○	○	○	○	a：名前の各書体調べを通じて書体の変遷について関心を持ち、表現や鑑賞の活に意欲的に取り組もうとしている。 b：篆刻における分間布白を理解し、表現を工夫している。 c：基本的な運刀が習得できている。 d：印影を鑑賞し、そのよさや美しさを味わっている。	観察 ワークシート 提出作品
8 9	団扇制作	・団扇の形式の中にオリジナリティある作品を創作	○	○	○	○	a：自らの構想に基づいて意欲的，主体的に活動を行おうとしている。 b：構成に関わることを理解し，表現を工夫している。 c：表現技法を高めるために、漢字の執筆法などの基本的事項を身に付け表している。 d：書のよさや美しさを創造的に味わっている。	観察 ワークシート 提出作品
9 10	【草書】 【行書】	・十七帖 ・書譜 ・草書創作 （一字書） ・集王聖教序 ・温泉銘	○	○	○	○	a：行書、草書の伝統と文化に関心を持ち、主体的に表現の創造的活動に取り組もうとしている。 b：自らの意図に基づいて線の太細など、表現を構想し、工夫している。 c：行書、草書の基本的な用筆、運筆を身に付け表している。 d：行書、草書の変遷に興味を持ち，その美しさやよさを味わっている。	観察 ワークシート 提出作品
10 11 12	仮名の書	・高野切第一種 ・関戸本古今和歌集 ・寸松庵色紙	○	○	○	○	a：名筆や技法に関心をもち、意欲的に仮名の美を味わっている。 b：仮名の・表現技法を高めるために、表現の基本的な用筆・運筆の技法を身に付け、表現を工夫している。 c：基本的な構成等を理解し、創造的な表現につなげている。 d：古筆の伝統的な美しさを味わっている。	観察 ワークシート 提出作品

1 2 3	漢字仮名 交じり書 字形・書風・ 墨色・線質・ 全体構成	・古典を基に書く ・創作 ・鑑賞会	○	○	○	○	a：漢字と仮名の調和と線質との関係について関心をもち、意欲的、主体的に表現や鑑賞の活動を行っている。 b：線質が漢字と仮名の調和を図る重要な要素であることを理解している。 c：実用的な表現や芸術的な表現の幅を広げ、漢字と仮名の線質の調和を図る技能を身に付けている。 d：互いの作品を鑑賞し、そのよさを味わっている。	観察 ワークシート 提出作品

※　表中の観点について

a：書への関心・意欲・態度　　b：書表現の構想と工夫

c：創造的な書表現の技能　　d：鑑賞の能力

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。